

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。46歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在2期目。



市政充実へ全力の論戦! 「横浜市会第2回定例会」一般質問より

5月28日の本会議にて、公明党を代表して一般質問に登壇。皆さまから頂いた声、各所への視察・研究を基に、ワクチン接種、アフターコロナの展望、防災減災、高齢者福祉、教育環境の充実など17項目31問にわたり市政の重要課題を質し、改善への提案などを行いました。以下抜粋してご報告致します。



横浜市会
インターネット中継も
ご覧ください

質問の詳細は、市会ホームページでもご覧いただけます。

<https://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp/>



無事故のワクチン接種推進へ

夏場に向けて長期にわたるワクチン接種の無事故の運営のために、会場への来場者や従事する医師やスタッフの健康に配慮した会場の環境整備・運用が大切です。

副市長答弁

長時間勤務とならないよう半日あたり2時間半を基本とし連日勤務を避けるシフトを組むなど、体調維持に配慮した勤務体制を採用。また会場の温度管理、休憩室の用意など行っています。

要介護の在宅高齢者へのワクチン接種対応

デイサービスを利用している方々からは施設での接種を望む声も多く、在宅で訪問サービスを利用する方は診療所に行くことも難しく、医師が訪問してワクチンを接種する対応が必要です。

市長答弁

デイサービス施設での接種ができるよう準備しています。重度の要介護の方へはかかりつけ医による訪問接種を行います。かかりつけ医の対応が難しい場合は、訪問可能な医療機関を紹介する仕組みを検討しています。



アーティストや文化芸術関係者への支援をさらに

文化芸術の担い手であるアーティストや、活動を支える文化関係者も大変な苦境にあります。会社や団体に所属しておらず、フリーランスで活動をされている方も多く、これまでの国や市の様々な支援だけではまだまだ十分ではありません。

市長答弁

これまでも皆さまの声を伺い、1575件・総額4.6億円にのぼる支援を迅速にお届けしてきましたが、今後も切れ目のない支援により皆さまをしっかりとお支えし、文化芸術による横浜の繁栄を力強く推進していきます。

▲林市長



並木地区の市営バス新路線が7月11日に運行開始



▲三村交通局長

市営バス94系統の廃止、294系統の減便案に対し、単なる廃止・減便ではなく、並木地区の長年の課題である交通空白について、解消につながる方策の検討をお願いしていたが、その後の検討・準備状況は。

交通局長答弁

アウトレットパーク、京急富岡駅、能見駅へのアクセスを確保した新路線を、7月11日より運行開始予定です。沿線の皆さまの利便性向上に寄与して参ります。

通学路の交通安全対策を迅速に

(京急富岡駅前での交通事故を受けて) 痛ましい事故が二度と繰り返されないよう、迅速な交通安全対策とともに、子どもたちへの心のケア、中長期の対策を行って頂きたい。

市長答弁

子どもたちの見守り、心のケアとともに、保護者・地域・関係機関が連携し、警察の協力のもと児童の安全確保に全力で取り組みます。

安心・安全な中学校給食の提供を

4月にスタートした中学校給食の、新1年生の喫食率が37.7%になりました。年度が進むことで、現在供給可能な喫食率30%を上回ることも見据えた準備を進める必要があります。

市長答弁

給食は生徒の健康、体づくりを考え、市が責任を持って提供するものです。より多くの生徒や保護者の皆さまにご利用頂けるよう、今後も積極的に利用促進に取り組めます。



©KOMEITO

高校における特別支援教育の充実へ

進学先である高校の多くが県立であるため、横浜市を目指す生徒一人一人に応じた「切れ目のない支援」の充実には、県の教育委員会との一層の連携が不可欠です。

教育長答弁

特別な支援が必要な生徒が、進学後の学校生活をスムーズに送れるよう、県とも連携し、市立高校における通級指導の有効活用について検討します。



▲鯉淵教育長

子どもの目を守る対策が大きく前進!

子どもの目の機能は、6歳前にほとんど完成すると言われており、異常の早期発見と早期治療が重要です。このことから、4歳児を対象としてきた視力検査の対象年齢の引き下げを公明党が要望し、令和元年9月から3歳児へと引き下げられました。その効果はどうか。

副市長答弁

3歳児の視力検査の結果、精密検査が必要と判断された割合はこれまでの4歳児の時と同程度で、対象年齢の引き下げによって、着実に早期の治療と療育に結び付けることができていると考えています。



裏面へ続く➡

市営住宅入居者の負担軽減へ

共益費の徴収や共用部分などの清掃、草刈りなどを継続していくことが困難であるとの声も多く寄せられています。今後の更なる高齢化を見据えて、早急な対応検討が必要です。

市長答弁

指定管理者による共益費の徴収を可能にするなど、入居者の負担軽減につながる対応を進めます。



フロなし市営住宅の課題が解消へ

金沢区にはフロなしの市営住宅が3か所あり、近隣の銭湯も減少する中、お住いの皆さまの高齢化と併せて健康・衛生面で深刻な課題であると、平成29年の一般質問でも早期の建て替えなどの対応を要望し、事業化を決定して頂きました。建て替えのスケジュール、見込みはどうか。

副市長答弁

瀬戸橋住宅の建て替えを令和6年度に完了します。その後速やかに六浦住宅の建て替えに着手し、令和9年度に完了します。その後、瀬ヶ崎住宅を解体します。



▲林副市長

「生理の貧困」など、女性が抱える課題の解消へ

女性が抱えている問題を社会で共有し、理解が進むことが重要です。特に、SDGs、ジェンダー平等の観点から、横浜市でも是非、取り組んでいくべき課題だと考えます

市長答弁

経済的に困窮している女性や学生への対応が必要だと考えており、防災備蓄の有効活用や学校での対応強化を図るとともに、企業との連携も視野に入れて取組を進めていきます。

危険なブロック塀の改善をさらに

これまでの対策で改善されたところも多いが、危険に思えるものもいまだに至る所で見受けられます。まだまだ取組が必要であり、むしろ加速させなければならないと考えます。

副市長答弁

身近な危険を減らすための大変重要な取組です。(3か年の)補助制度の最終年度にあたり、これまでの取組を検証し、今後の対策の在り方を検討していきます。

約10年間で、全ての学校体育館にエアコンを設置

公明党からの強い申入れにより、令和元年度から学校体育館へのエアコン設置が開始されています。今年度は25校で工事が予定されているが、さらに着実に推進して頂きたい。

教育長答弁

厳しい財政状況ですが、普通教室のエアコン更新と体育館への新設を計画的に同時並行で行っていきます。体育館のエアコンは建て替えや大規模改修の時期も勘案しつつ、10年程度の期間で着実に整備を進めていきます。



迅速に支援を実現しました!

① 防災備蓄品を有効活用

備蓄する生理用品の一部を、男女共同参画センター(3館)の女性トイレで配布するほか、社会福祉協議会の生活困窮者支援などで活用します。

② 企業との協同で無料提供システムを導入

横浜市役所、アートフォーラムあざみ野、横浜市大(金沢八景・福浦・鶴見・舞岡キャンパス)の女性トイレの個室に「生理用ナプキン無料提供サービスOiTr(オイテル)」を導入します。

③ 市立小中学校でも

児童生徒の家庭状況や身体の成長の把握につなげられるよう、養護教諭を中心に丁寧に対応します。



▲生理用ナプキン無料提供サービス OiTr(オイテル)

コロナワクチン接種を着実に推進

■ 高齢者(65歳以上)の90%以上が接種予約を完了

7月末までの接種完了を目指し、集団接種会場・大規模接種会場に加え、市内約1,500の医療機関にご協力頂き、接種を進めています。

■ 64歳以下の皆さまへの接種券を発送中

職場や大学などで接種を受ける際に、個別通知に同封の接種券と予診票を使用できます。

- ・7月5日(月)から優先接種者(基礎疾患のある方、高齢者施設等の従事者)の接種予約を開始します。
- ・それ以外の方へは、8月以降にあらためて接種時期や予約に関する通知を送付します。

※主婦やお勤めの方に便利な、集団接種会場や接種時間帯の検討を行っています。



©KOMETTO

個別通知(接種券)発送スケジュール

60～64歳	6月23日(水)
50～59歳	6月30日(水)
40～49歳	7月7日(水)
30～39歳	7月13日(火)
20～29歳	7月19日(月)
12～19歳	7月26日(月)

